

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
令和元年度事業 点検・評価調書

4-I-19

4-I-19

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	パークアンドライド等多様なアクセス方法の検討
	節		
事業(施策)名	19 パークアンドライドなどの推進	事業主体	佐渡市交通政策課
		関連団体	佐渡市観光振興課、佐渡観光交流機構
事業実施期間	H28～R4		
事業概要	【事業目的】	○パークアンドライドなど多様なアクセス方法により、渋滞等を防ぎ住環境を守るとともに、来訪者の円滑な移動を図る。	
	【事業内容】	○需要・渋滞予測を踏まえ、相川地区循環バスや鶴子銀山、西三川砂金山へのシャトルバス等を活用したパークアンドライドの推進を図る。 ○まち歩きツアーや電動アシストレンタサイクル等による構成資産へのアクセスの多様化を図る。	
事業計画と実績	【元年度計画】	●渋滞予測調査を踏まえ、相川地区循環バスの導入方法を検討する。鶴子銀山、西三川砂金山へは、市役所駐車場やゴールドパーク駐車場を発着するガイド付きツアーを市事業として実施する。	
	【元年度実績】	●相川地区の交通量調査及び渋滞予想調査を民間コンサルタントに業務委託を実施した。 ●「きらりうむ」発着のガイドツアーを実施した。 ・11月2日 西三川砂金山見学会 ・11月3日 鶴子銀山見学会	
課題・今後の取組	【課題】	■交通量調査の結果と先進地の状況から、現在の交通量が約2.5倍以上に増加すると一車線区間(相川大工町付近・相川銀山町付近)では渋滞が予想される。 その対策として循環バスの運行や交通誘導・規制など、関係機関との検討が必要である。	
	【今後の取組】	■渋滞予測調査の結果を踏まえて、相川地区循環バスの運行や交通誘導・規制に関する検討を進める。	
事業評価	【事業の達成度】	◇交通量調査及び渋滞予測から対策が必要なエリアを想定し、今後、検討段階に入ることからB評価とした。	
	【事業実施の効果】		
	【総合評価】		

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。